

谷川岳幽ノ沢 V字状岩壁右ルート

期間：2008年10月18日

メンバー：田中(L) 野澤(記)

田中さんから1週間前に10/18空いている？谷川岳幽ノ沢へ岩登りに行かない？と誘われる。急に休みが取れることになったようだ。翌日は石塚さんの送別山行で西ゼンへ行く予定だったので当然OK。ついでに田中さんも翌日の西ゼンへ行くことになった。久しぶりの岩上り。緊張しました。

田中さんと22:00の約束をしたが、仕事が終わらず遅れてしまい、田中さん家へ着いたのが23:15頃。谷川岳ロープウエー駅へ着いたのが2:00。ささやかな入山祝いを行い2:30就寝。あつという間に起床時間の4:30。眠い～。5:00出発。暗い林道をトボトボ歩き出す。



【夜明け前の一ノ倉沢：月と谷川】



【朝陽を浴びる一ノ倉沢】

一ノ倉沢へ着く頃に丁度日の出。天気も快晴。紅葉も見頃で最高の景色であった。

更に歩を進め、幽ノ沢出合着6:15。

ここで沢靴に履き替え、幽ノ沢を遡上する。

カールボーデン上部着7:45。

ノンビリ フラットソールに履き替えていると、後からきた4人組に追いつかれてしまう。ついでだからともう少しノンビリする。



【トレース部基点】



【スラブ上フェースの田中さん】



【最終フェース下のルンゼ】

ホールドもしっかりしていて、サクサク登れる。最終フェース&ルンゼも高度感バッチリで緊張するも楽しい。快晴の中、紅葉を楽しみながら岩壁を攀じるのは何とも爽快だ！と思ったのはここまで。

最後の 級フェースは正面やや右側のルートを取った為、私には非常に手強く、途中で泣きが入りそうだった。(写真も撮り忘れてしまいました)何とか登り詰め、そのまま真直ぐ藪を詰めて石楠花尾根へ着く。通常の終了点よりやや右へ出てしまった。終了点まで移動し無事到着。13:40。他のパーティーが居たので見える範囲でピッチを区切ったので、合計12ピッチで終了。

登攀具を片付け、帰り支度をする。石楠花尾根から堅炭尾根へ出る。この間は踏み跡あるもヤブ漕ぎである。堅炭尾根は登山道なのだろう。しっかり草刈をしてくれてあったので助かった。岩も乾いていて滑りにくい。途中で分かりにくいところがあり、まんまと違う沢筋へ導かれ登り返す。その後も沢の崩壊があり、途中で目印が無くなっている。探すよりは、沢を下降した方が早い。漸く、芝倉沢出合へ到着。16:10。

久しぶりの岩登りでしたが、快晴に恵まれ大変楽しく過ごせました。
田中さん また行きましょう！

ヘッドランプだとかなり厳しい。我々は明るいうちに林道へ到着したが、途中で追い越した中年のご夫婦が少し心配になった。



【芝倉沢出合：林道は崩壊している】

林道をトボトボ歩き帰路に着く。
ロープウエー到着 17:42。

支度をして18:00過ぎにロープウエー駅駐車場を出発。駐車場料金を払おうとしたが、駐車場係りの人がいない。残念だが支払えず。(わざとではありません。)

明日の西ゼンに向けて、土樽駅へ移動する。途中で風呂に入り、食料を買い込む。明日も頑張るぞ！

しかし、少し気になったのは、幽ノ沢の林道からロープウエー駅まで着かず離れず一緒だった一般登山者の熊除けの鈴の音。鳥の声も、沢の音も何もかもかき消されてしまい興醒めであった。熊に出会いたくない気持ちは分かるが、林道まで鳴らさばなしは如何なものか？そう思うのは私だけ？